

THE TOKYO YAKKADAIGAKU SHIMBUN
号外 ©1988 東京薬科大学新聞会

発行所
東京薬科大学新聞会
責任者 嶋村 信孝

THE TOKYO YAKKADAIGAKU SHIMBUN
号外 ©1988 東京薬科大学新聞会

発行所
東京薬科大学新聞会
責任者 嶋村 信孝

学内連絡会議音楽棟増設問題 にぶい大学の対応

すでにご存じの方も多いうが、現在執行委員会、自治委員会及び文化部門が中心となつて、音楽棟を増設してほしいことを大学側に要求している。詳しい経過は、六十二年十一月十八日の学内連絡会議で報告済み(第一四四号)なので省略するが、その会議の席上、大学側から十分検討し、誠実に対応する旨の回答があつた。しかし、半年近く経過しても大学側に何ら動きがみられなかつたため、再び連絡会議を開催してこの音楽棟増設問題について討論することになつたのである。

一人一人の協力を

文化部門長
杉浦 悟

去る五月二日(土)に行われた学内連絡会議は、約百名の学生の参加のもとに行われ、三時間以上の討議が大学側と学生側との間で交わされました。この会議は、学生側が要求している音楽棟増設に関しての話し合いのほゞなもので、大学側は一貫として多目的ホール利用状況に固執して議題に真剣に取り組まず、話し合

発表や一般学生のための場合、材運搬の労力と時間とが並でないという点で、そう使えないのではない。仕方なくジャズ研は学外のスタジオを借りて練習しているのだが、使用料は全額個人負担という。これ以上のことより一つのクラブへのシワ寄せを打破するため、大学側には早急に音楽棟の増設を決定して頂きたい。

いは平行線のまま閉会しました。このままでは、学生側の要求は曖昧なままで終わってしまうのではないだろうか。学生に言いたいのは、音楽棟増設に関して少しでも興味をもってもらいたいです。学生一人一人の協力があつてこそ、音楽棟増設が実現すると信じております。

問われる学生の無関心と

新委員長は山田敬正君

先月二五日から二七日までの三日間行われた学生自治会信任投票は、投票率五七・三%とかなり無関心さが浮き彫りとなる形となつた。今回の選挙について選挙管理委員会委員長の中川君に感想をうかがつた。

選挙管理委員会委員長
中川 彰

五月二五日から二七日まで行われた学生自治会選挙が無事終了し、今年度の執行委員長と副執行委員長が決まりました。

今年の選挙の投票率は五七・三%と去年に比べてかなり下回る結果になりました。このようなことが起こつてしまった主な原因は以下のようになります。

- 一、新聞会が号外で執行委員長及び副執行委員長の立候補者の紹介や、選挙の充分なPR等を行わなかつた。
- 二、選挙管理委員会自身が選挙の宣伝に対しては受け身で、あまり宣伝をしなかつた。
- 三、一般学生がこの学生自治会選挙に対してあまり興

味を持つていない。一、二のために、立候補者がどこの誰だかわからないなど、ご丁寧に投票用紙の下に宣伝不足であると書いてくれた人もいました。選挙管理委員を代表して、この場で深くおわびします。

しかし、年々学生に軽視されがちなの選挙ですが、執行委員長と副執行委員長とはつまり学生の代弁者であり、学生の不満、要望等を的確に把握し、大学側に訴える人々であります。皆さん一人一人が自ら積極的に投票所に来て投票することを強く望みます。

今年の選挙もなんとか無事終了したわけだが、投票率五七・三%ではかなり寂しい。それも、有権者が自ら投票所に行つてきたのはわずかに、ほとんどは選挙管理委員が研究室を回つたり、部門コンパ

学生自治会信任投票結果

名	前	信	任	不	信	無	効
山田敬正	1	0	9	2	5	2	30
近藤晃朗	1	1	1	2	3	3	
嶋田好枝	1	1	1	2	3	1	

投票率 57.3%

ウラは音楽棟増設問題

にまで出張するなどして得た票である。本当にこれだけのだろうか。しかし逆に考えると、それだけ学生に執行委員会の活動はおろか、自治会全体が理解されていらないことになるだろう。本学では全学生が自治会員である。全学生がもつ自治会活動に積極的に関心をもち、参加すべきではないだろうか。ともかく、六月一日から執行をとることになつた山田君らには、学生の代表として是非ともがんばってもらいたい。